

彙 報

目 次

- 1 東南アジア研究センター管理委員会開催日および議題
- 2 東南アジア研究センター運営委員会開催日および議題
- 3 東南アジア研究センター編集委員会開催日および議題
- 4 東南アジア研究センター昭和41年度研究担当教官名簿追加
- 5 東南アジア研究センター学外研究参加者名簿追加
- 6 東南アジア医学シンポジウム記事
- 7 アジア政経学会全国大会記事
- 8 東南アジア研究センター研究例会記事
- 9 国外からの訪問者
- 10 関係者往来

1 東南アジア研究センター管理委員会 開催日および議題

昭和41年9月20日

- 1 第2次5カ年計画のフォード財団への援助金申請について

2 東南アジア研究センター運営委員会 開催日および議題

昭和41年9月16日

- 1 第2次5カ年計画のフォード財団への援助金申請について

昭和41年10月3日

- 1 研究担当教官候補者について
- 2 大学院学生の研究志願について

昭和41年11月7日

議題なし

昭和41年12月5日

- 1 学外者の研究参加について

3 東南アジア研究センター編集委員会 開催日および議題

昭和41年11月21日

- 1 「東南アジア研究」第4巻第2号の検討

4 東南アジア研究センター昭和41年度研究担当教官名簿追加

所 属	職 名	氏 名	研 究 題 目
結核研究所	講 師	佐 川 弥 之 助	東南アジアにおける結核の現状調査および結核外科の指導
防災研究所	教 授	矢 野 勝 正	東南アジアにおける水災害に関する調査研究
	助 手	古 谷 尊 彦	東南アジアにおける地盤地質及び地すべり地の分布型の研究
	助 手	竹 内 篤 雄	同 上

5 東南アジア研究センター学外研究参加者名簿追加

所 属	職 名	氏 名	研 究 題 目
信州大学教養部	助 教 授	清 水 建 美	タイ国の石灰岩植物
国立科学博物館	文 部 技 官	上 野 俊 一	タイ・マラヤの好湿性昆虫相の研究

6 東南アジア医学シンポジウム記事

本誌第4巻第1号集報に掲載の計画の通り1966年10月1日、2日の両日にわたり、標記シンポジウムが開催された。

7 アジア政経学会全国大会記事

京都大学東南アジア研究センターを当番校として標記学会第20回全国大会が下記の通り開催された。

日 時 昭和41年10月29日および30日

場 所 京都大学 楽友会館

第1日 10月29日

開会の辞	大会準備委員長	本岡 武
挨拶	京大東南アジア研究センター所長	岩村 忍
共通論題 「中国の伝統と社会主義体制」		
1 中国社会主義における革命と伝統	一橋大学	村松 祐次
2 太平天国における伝統と革命	お茶の水大学	市古 宙三
3 中国歴史上の革命政権 ——その崩壊或は安定の過程——	京都大学	貝塚 茂樹 入江 啓四郎
4 中国古典における国際法的理念と慣行		

第2日 10月30日

自由論題

1 人民公社調整段階における大衆路線の課題 ——1962年前後の広東、福建省の例を中心として——	アジア経済研究所	徳田 教之
2 ヴェトナム民族運動における指導権の推移 ——民族主義から共産主義へ——	九州大学	谷川 栄彦
3 民族民主国家と国家資本主義	大阪市立大学	古賀 正則
4 19世紀インド経済史研究の方法論的再検討 ——M.D. モリスの所説をめぐって——	東大東洋文化研究所	松井 透
5 東南アジアにおける農業開発	京大東南アジア研究センター	本岡 武
閉会の辞	代表理事	板垣 与一
総会・懇親会		

8 東南アジア研究センター研究例会記事

回数	年 月 日	講演者	題 目
105	昭和41年10月7日	山口 真一	「東南アジアの地すべりについて」
		本岡 武	「タイ国農業生産の基盤条件整備」
106	昭和41年10月13日	田川 基二	「タイ国の植物調査」
		北川 尚史	
		岩槻 邦男	
		福岡 誠行	
		今立 源太良	「東南アジアの原尾目相」
107	昭和41年10月27日	矢野 暢	「南タイの土地所有の問題」
		前田 成文	「ジャクンの親族組織」

回数	年 月 日	講 演 者	題 目
108	昭和41年11月9日	高 橋 英 一	「タイ、マラヤ、カンボジアにおける稲作施肥技術導入上の問題点」
109	昭和41年11月24日	松 尾 嘉 郎	「タイ、マラヤの水田土壌の肥沃度に関する考察」
		河 津 一 儀	「マラヤを中心とした魚毒成分含有植物について」
		内 藤 益 一	「東南アジア諸国における結核の現状」
		前 川 暢 夫	
		西 占 貢	「タイ国巡回診療実施調査の報告」
東 昇 孝	「東南アジア医学シンポジウムの経過報告」		
寺 松 孝			
110	昭和41年12月8日	崎 山 理	「インドネシアの留学生活」
		高 村 泰 雄	「IRRI (フィリピン) の研究生生活」
111	昭和41年12月12日	Ungku A. Aziz	「マレーシアにおける研究活動のために」
112	昭和41年12月15日	Frank N. Trager	「A Strategy of Appraisal on Southeast Asia」
113	昭和41年12月22日	石 井 米 雄	「ビルマを訪ねて」

9 国外からの訪問者

年 月 日	氏 名
昭和41年10月8日	Mr. Paul J. Braisted, President, The Hazen Foundation, New Haven, U.S.A. Mr. and Mrs. Grant T. Fordyce, Executive Secretary, The Rusker Foundation, New York, U.S.A.
昭和41年10月11日	Dr. William L. Spalding, U.S. Dept. of State, Washington, D.C., U.S.A.
昭和41年10月17日	Dr. W. Klatt, O.B.E., St. Antony's College, Oxford, London
昭和41年10月28日	Mrs. Marjorie Flood, Educational Exchange Branch, American Embassy
昭和41年11月18日	Mr. R.H. Shackford, Scripps-Howard Newspapers, Washington, D.C., U.S.A.
昭和41年12月1日	Prof. Howard Gest, Chairman, Dept. of Microbiology, Indiana University, Bloomington, U.S.A.
昭和41年12月3日	Mr. John F. Doherty, S.J., Vice President, Atheneo de Manila, The Philippines
昭和41年12月12日	Mr. David S. Bell, Jr., Dept. of Political Science, University of Singapore, Singapore
昭和41年12月13日	Ungku A. Aziz, Dean, Faculty of Economics, University of Malaya, Malaysia
昭和41年12月15日	Prof. Frank N. Trager, Graduate School of Public Administration, New York University, U.S.A.
(追加)	
昭和41年9月9日	Mrs. Boonthom Dhamcharee, Chief, Research Compilation and Coordination Division, National Research Council, Bangkok, Thailand

10 関係者往来

氏名	出発	帰国	行先
森山徐一郎(京大・工・教授)	41.10.2	41.10.16	タイ, マレーシア, シンガポール
赤井重恭(京大・農・教授)	41.10.16	41.11.14	タイ, マレーシア, フィリピン, 香港, シンガポール
小野尊睦(京大・医・助教授)		41.10.18	タイ, インド, セイロン, 台湾
天野義彦(京大・医・助手)		41.10.18	タイ, 台湾
貴島恒夫(京大・木研・教授)	41.10.26	41.11.24	タイ, マレーシア, シンガポール, ブルネイ, 香港
木島正夫(京大・薬・教授)	41.10.31	41.11.14	タイ, マレーシア, シンガポール
飯島茂(京大・東南ア研・助手)		41.11.7	タイ, ビルマ, イギリス, アメリカ
笠原嘉(京大・医・講師)	41.11.15	41.12.17	タイ, 香港, 台湾
川口桂三郎(京大・農・教授)	41.11.23		フィリピン, パキスタン, ビルマ, カンボジア, 香港
久馬一剛(京大・農・助手)	41.11.23		"
石井米雄(京大・東南ア研・助教授)		41.12.8	タイ
佐川弥之助(京大・結研・講師)	41.12.12		タイ

あとがき

現在の入札方法では、本誌は各号ごとに印刷所が変わる。そのため、ふなれな印刷所との交渉で、双方ともたいへん苦労したが、とにかく予定どおり本号を年内に仕上げることができた。

本誌の実質的価値は現地調査にある。フィールド・ワークの進捗につれて、本号の内容がいよいよ充実してきたことを、嬉しく思う。

なお、本号では、東南アジア研究センターの関係者がいかに、電源開発株式会社松居正治氏のカンボジア農業調査にもとづく玉稿をえた。謝意を表するしだいである。(編集委員記)

執筆者紹介

森口兼二	京大・教育・助教授	赤井重恭	京大・農・教授
西田龍雄	京大・文・助教授	水野浩一	京大・東南ア研・研修員
坪内良博	京大・東南ア研・助手	神谷不二	大阪市大・法・教授
本岡武	京大・東南ア研・教授	飯沼二郎	京大・人文研・助教授
松居正治	電源開発(株)・海外技術協力部 農業コンサルタント	山口真一	京大・防災研・教授
上田弘一郎	京都産業大・教授 京大・名誉教授	口羽益生	竜谷大・文・助教授
小林達治	京大・農・助手	高坂正堯	京大・法・助教授
高橋英一	京大・農・教授	高木太郎	神戸大・教育・教授
藤吉慈海	花園大・仏教・教授	矢野暢	大阪外大・講師
		桂満希郎	タマサート大・講師
		前田成文	京大・大学院・文学研究科